

日伯新聞

発行所 日伯新聞社
本紙定期
半額年賃三ミル

聖市

郵便三七五

明年度公債

雄党者に擬せる一日其結党

低能兒教育

社を眼の敵にしての語もあつた

歳末リキダソン

年將さに暮れんとす。恒例りかし、將來の發展を阻止するもつて免はねばならない。吾人は乞うるに及ばず、イケなけれ

きダソン無かる可らず、願みれのだて誇張し、迂遠なる常國育寧の實物教育として十年に一回に還俗歸農カマーラーをすれば

ば本年も相當に問題はあつた、權にたより政府の金をせしめや五年に一回の不景氣襲来を歓迎よいのである。植民地での生存の變化は現在力伯國日本移民し、お陰で地方同胞はよい経験をても、それが淺見な上ツ調子な云ふ譯ではなく、何でも取つて風馬牛の如く相關せざる得た譯であるが専合點諒解に便分子のみで絶えず投機思惑氣分よい自分に都合のよい職業があるものであるからそれには觸れずする爲め數言を附加へる。他ならず支配されるならば本邦植民の付付くことである、これ馬鹿者

官金の支出は廻毛、雖も説教の時々不景氣の大ベテラに構えた第一に指摘すべきは本年の不協賛と絶なければならぬ。吾人は苟めにも景氣である、反動期のそれは世に使書記生の旅行ですら一ヶ月省る、一回の不景氣に遭遇して在歸農若しくは半農半商は吾人の伯内に逃れ馳せながら之を味民から如何なぞ請願を受地して、なんのものとは信じ難くなつたと云ふに過ぎない。素よりも物に依つては之に意見を附し、新總領事來て更始一新を云々

未梢神經の遲鈍なる伯國に於て取次ぐこあり、それが外務省に廻り更め思はない誰が來たとて同じくは主として都會地オリオナンバウあり、その影響を大なりとし地方農村で審査、更に太歲省に廻附さだと思つてをる、只白紙主義で被害は殆んど云ふに足らんれて最彼の決定を受け然る後議行公平に聽き公平に聽き公平に判すれば、八九月頃は聖市に於ても會會の審査を経るのである、幸に恐らくは大過なからんか、然一誠谷久邇宮家においても三日間無產者政黨組織運動は今春承認を最もに貸出を嚴禁し資金のつたものでない、本年沖縄県にても之に抗する能はず、無理と知つては居たが、聖市に於ても之に抗する能はず道理に判

る。吾人は敢て世百万田十ヶ年賦と云ふことに削りを喰つて從來の

一般的であつて其間甲乙の差等つて右から左へオインレと金が

は無かつた、只平常無茶をやつ出るものか考へてみ

名に於てどうにか食つて行から

で居た者が多く驚嘆を蒙り、手れば軽る。

豊かで

年將さに暮れんとす。恒例りかし、將來の發展を阻止するもつて免はねばならない。吾人は乞うるに及ばず、イケなけれ

きダソン無かる可らず、願みれのだて誇張し、迂遠なる常國育寧の實物教育として十年に一回に還俗歸農カマーラーをすれば

ば本年も相當に問題はあつた、權にたより政府の金をせしめや五年に一回の不景氣襲来を歓迎よいのである。植民地での生存の變化は現在力伯國日本移民し、お陰で地方同胞はよい経験をても、それが淺見な上ツ調子な云ふ譯ではなく、何でも取つて風馬牛の如く相關せざる得た譯であるが専合點諒解に便分子のみで絶えず投機思惑氣分よい自分に都合のよい職業があるものであるからそれには觸れずする爲め數言を附加へる。他ならず支配されるならば本邦植民の付付くことである、これ馬鹿者

官金の支出は廻毛、雖も説教の時々不景氣の大ベテラに構えた第一に指摘すべきは本年の不協賛と絶なければならぬ。吾人は苟めにも景氣である、反動期のそれは世に使書記生の旅行ですら一ヶ月省る、一回の不景氣に遭遇して在歸農若しくは半農半商は吾人の伯内に逃れ馳せながら之を味民から如何なぞ請願を受地して、なんのものとは信じ難くなつたと云ふに過ぎない。素よりも物に依つては之に意見を附し、新總領事來て更始一新を云々

未梢神經の遲鈍なる伯國に於て取次ぐこあり、それが外務省に廻り更め思はない誰が來たとて同じくは主として都會地オリオナンバウあり、その影響を大なりとし地方農村で審査、更に太歲省に廻附さだと思つてをる、只白紙主義で被害は殆んど云ふに足らんれて最彼の決定を受け然る後議行公平に聽き公平に聽き公平に判すれば、八九月頃は聖市に於ても會會の審査を経るのである、幸に恐らくは大過なからんか、然一誠谷久邇宮家においても三日間無產者政黨組織運動は今春承認を最もに貸出を嚴禁し資金のつたものでない、本年沖縄県にても之に抗する能はず、無理と知つては居たが、聖市に於ても之に抗する能はず道理に判

る。吾人は敢て世百万田十ヶ年賦と云ふことに削りを喰つて從來の

一般的であつて其間甲乙の差等つて右から左へオインレと金が

は無かつた、只平常無茶をやつ出るものか考へてみ

名に於てどうにか食つて行から

で居た者が多く驚嘆を蒙り、手れば軽る。

豊かで

年將さに暮れんとす。恒例りかし、將來の發展を阻止するもつて免はねばならない。吾人は乞うるに及ばず、イケなけれ

きダソン無かる可らず、願みれのだて誇張し、迂遠なる常國育寧の實物教育として十年に一回に還俗歸農カマーラーをすれば

ば本年も相當に問題はあつた、權にたより政府の金をせしめや五年に一回の不景氣襲来を歓迎よいのである。植民地での生存の變化は現在力伯國日本移民し、お陰で地方同胞はよい経験をても、それが淺見な上ツ調子な云ふ譯ではなく、何でも取つて風馬牛の如く相關せざる得た譯であるが専合點諒解に便分子のみで絶えず投機思惑氣分よい自分に都合のよい職業があるものであるからそれには觸れずする爲め數言を附加へる。他ならず支配されるならば本邦植民の付付くことである、これ馬鹿者

官金の支出は廻毛、雖も説教の時々不景氣の大ベテラに構えた第一に指摘すべきは本年の不協賛と絶なければならぬ。吾人は苟めにも景氣である、反動期のそれは世に使書記生の旅行ですら一ヶ月省る、一回の不景氣に遭遇して在歸農若しくは半農半商は吾人の伯内に逃れ馳せながら之を味民から如何なぞ請願を受地して、なんのものとは信じ難くなつたと云ふに過ぎない。素よりも物に依つては之に意見を附し、新總領事來て更始一新を云々

未梢神經の遲鈍なる伯國に於て取次ぐこあり、それが外務省に廻り更め思はない誰が來たとて同じくは主として都會地オリオナンバウあり、その影響を大なりとし地方農村で審査、更に太歲省に廻附さだと思つてをる、只白紙主義で被害は殆んど云ふに足らんれて最彼の決定を受け然る後議行公平に聽き公平に聽き公平に判すれば、八九月頃は聖市に於ても會會の審査を経るのである、幸に恐らくは大過なからんか、然一誠谷久邇宮家においても三日間無產者政黨組織運動は今春承認を最もに貸出を厳禁し資金のつたものでない、本年沖縄県にても之に抗する能はず、無理と知つては居たが、聖市に於ても之に抗する能はず道理に判

る。吾人は敢て世百万田十ヶ年賦と云ふことに削りを喰つて從來の

一般的であつて其間甲乙の差等つて右から左へオインレと金が

は無かつた、只平常無茶をやつ出るものか考へてみ

名に於てどうにか食つて行から

で居た者が多く驚嘆を蒙り、手れば軽る。

豊かで

年將さに暮れんとす。恒例りかし、將來の發展を阻止するもつて免はねばならない。吾人は乞うるに及ばず、イケなけれ

きダソン無かる可らず、願みれのだて誇張し、迂遠なる常國育寧の實物教育として十年に一回に還俗歸農カマーラーをすれば

ば本年も相當に問題はあつた、權にたより政府の金をせしめや五年に一回の不景氣襲来を歓迎よいのである。植民地での生存の變化は現在力伯國日本移民し、お陰で地方同胞はよい経験をても、それが淺見な上ツ調子な云ふ譯ではなく、何でも取つて風馬牛の如く相關せざる得た譯であるが専合點諒解に便分子のみで絶えず投機思惑氣分よい自分に都合のよい職業があるものであるからそれには觸れずする爲め數言を附加へる。他ならず支配されるならば本邦植民の付付くことである、これ馬鹿者

官金の支出は廻毛、雖も説教の時々不景氣の大ベテラに構えた第一に指摘すべきは本年の不協賛と絶なければならぬ。吾人は苟めにも景氣である、反動期のそれは世に使書記生の旅行ですら一ヶ月省る、一回の不景氣に遭遇して在歸農若しくは半農半商は吾人の伯内に逃れ馳せながら之を味民から如何なぞ請願を受地して、なんのものとは信じ難くなつたと云ふに過ぎない。素よりも物に依つては之に意見を附し、新總領事來て更始一新を云々

未梢神經の遲鈍なる伯國に於て取次ぐこあり、それが外務省に廻り更め思はない誰が來たとて同じくは主として都會地オリオナンバウあり、その影響を大なりとし地方農村で審査、更に太歲省に廻附さだと思つてをる、只白紙主義で被害は殆んど云ふに足らんれて最彼の決定を受け然る後議行公平に聽き公平に聽き公平に判すれば、八九月頃は聖市に於ても會會の審査を経るのである、幸に恐らくは大過なからんか、然一誠谷久邇宮家においても三日間無產者政黨組織運動は今春承認を最もに貸出を厳禁し資金のつたものでない、本年沖縄県にても之に抗する能はず、無理と知つては居たが、聖市に於ても之に抗する能はず道理に判

る。吾人は敢て世百万田十ヶ年賦と云ふことに削りを喰つて從來の

一般的であつて其間甲乙の差等つて右から左へオインレと金が

は無かつた、只平常無茶をやつ出るものか考へてみ

名に於てどうにか食つて行から

で居た者が多く驚嘆を蒙り、手れば軽る。

豊かで

年將さに暮れんとす。恒例りかし、將來の發展を阻止するもつて免はねばならない。吾人は乞うるに及ばず、イケなけれ

きダソン無かる可らず、願みれのだて誇張し、迂遠なる常國育寧の實物教育として十年に一回に還俗歸農カマーラーをすれば

ば本年も相當に問題はあつた、權にたより政府の金をせしめや五年に一回の不景氣襲来を歓迎よいのである。植民地での生存の變化は現在力伯國日本移民し、お陰で地方同胞はよい経験をても、それが淺見な上ツ調子な云ふ譯ではなく、何でも取つて風馬牛の如く相關せざる得た譯であるが専合點諒解に便分子のみで絶えず投機思惑氣分よい自分に都合のよい職業があるものであるからそれには觸れずする爲め數言を附加へる。他ならず支配されるならば本邦植民の付付くことである、これ馬鹿者

官金の支出は廻毛、雖も説教の時々不景氣の大ベテラに構えた第一に指摘すべきは本年の不協賛と絶なければならぬ。吾人は苟めにも景氣である、反動期のそれは世に使書記生の旅行ですら一ヶ月省る、一回の不景氣に遭遇して在歸農若しくは半農半商は吾人の伯内に逃れ馳せながら之を味民から如何なぞ請願を受地して、なんのものとは信じ難くなつたと云ふに過ぎない。素よりも物に依つては之に意見を附し、新總領事來て更始一新を云々

未梢神經の遲鈍なる伯國に於て取次ぐこあり、それが外務省に廻り更め思はない誰が來たとて同じくは主として都會地オリオナンバウあり、その影響を大なりとし地方農村で審査、更に太歲省に廻附さだと思つてをる、只白紙主義で被害は殆んど云ふに足らんれて最彼の決定を受け然る後議行公平に聽き公平に聽き公平に判すれば、八九月頃は聖市に於ても會會の審査を経るのである、幸に恐らくは大過なからんか、然一誠谷久邇宮家においても三日間無產者政黨組織運動は今春承認を最もに貸出を厳禁し資金のつたものでない、本年沖縄県にても之に抗する能はず、無理と知つては居たが、聖市に於ても之に抗する能はず道理に判

る。吾人は敢て世百万田十ヶ年賦と云ふことに削りを喰つて從來の

一般的であつて其間甲乙の差等つて右から左へオインレと金が

は無かつた、只平常無茶をやつ出るものか考へてみ

名に於てどうにか食つて行から

で居た者が多く驚嘆を蒙り、手れば軽る。

豊かで

年將さに暮れんとす。恒例りかし、將來の發展を阻止するもつて免はねばならない。吾人は乞うるに及ばず、イケなけれ

きダソン無かる可らず、願みれのだて誇張し、迂遠なる常國育寧の實物教育として十年に一回に還俗歸農カマーラーをすれば

ば本年も相當に問題はあつた、權にたより政府の金をせしめや五年に一回の不景氣襲来を歓迎よいのである。植民地での生存の變化は現在力伯國日本移民し、お陰で地方同胞はよい経験をても、それが淺見な上ツ調子な云ふ譯ではなく、何でも取つて風馬牛の如く相關せざる得た譯であるが専合點諒解に便分子のみで絶えず投機思惑氣分よい自分に都合のよい職業があるものであるからそれには觸れずする爲め數言を附加へる。他ならず支配されるならば本邦植民の付付くことである、これ馬鹿者

官金の支出は廻毛、雖も説教の時々不景氣の大ベテラに構えた第一に指摘すべきは本年の不協賛と絶なければならぬ。吾人は苟めにも景氣である、反動期のそれは世に使書記生の旅行ですら一ヶ月省る、一回の不景氣に遭遇して在歸農若しくは半農半商は吾人の伯内に逃れ馳せながら之を味民から如何なぞ請願を受地して、なんのものとは信じ難くなつたと云ふに過ぎない。素よりも物に依つては之に意見を附し、新總領事來て更始一新を云々

未梢神經の遲鈍なる伯國に於て取次ぐこあり、それが外務省に廻り更め思はない誰が來たとて同じくは主として都會地オリオナンバウあり、その影響を大なりとし地方農村で審査、更に太歲省に廻附さだと思つてをる、只白紙主義で被害は殆んど云ふに足らんれて最彼の決定を受け然る後議行公平に聽き公平に聽き公平に判すれば、八九月頃は聖市に於ても會會の審査を経るのである、幸に恐らくは大過なからんか、然一誠谷久邇宮家においても三日間無產者政黨組織運動は今春承認を最もに貸出を厳禁し資金のつたものでない、本年沖縄県にても之に抗する能はず、無理と知つては居たが、聖市に於ても之に抗する能はず道理に判

る。吾人は敢て世百万田十ヶ年賦と云ふことに削りを喰つて從來の

一般的であつて其間甲乙の差等つて右から左へオインレと金が

は無かつた、只平常無茶をやつ出るものか考へてみ

名に於てどうにか食つて行から

で居た者が多く驚嘆を蒙り、手れば軽る。

豊かで

年將さに暮れんとす。恒例りかし、將來の發展を阻止するもつて免はねばならない。吾人は乞うるに及ばず、イケなけれ

きダソン無かる可らず、願みれのだて誇張し、迂遠なる常國育寧の實物教育として十年に一回に還俗歸農カマーラーをすれば

ば本年も相當に問題はあつた、權にたより政府の金をせしめや五年に一回の不景氣襲来を歓迎よいのである。植民地での生存の變化は

シアン・ティ・アン
デイ・アの不安

「廿七」

ビオ・バロハ作
住谷朋花譯

第一編 幼年時代

第七章

ホアン伯父の葬式

Guequin uaiabadezu
Belena etorri
Atera bearco dezu
Gona zar hori

(若し皆さ一所にベレムに來わ
いのなら、その古くる、裾を
つて終はなければいかないよ
漁夫や小供達の集りてはこん
そつけて、又アギレチエの舞草
スの日に白い肩掛けに真鍮の冠
に歸つて來て、別な種々の歌え
唱へてゐた。

此の日には、羊飼々山から下
りて人の家に行つて、手鼓やサ
ムボンバに連れて、その銳し腰
聲で相槌を打つてゐた。

若し何處かの家でお神さんが
都屋でも用意して呉れたら、和
槌を打つ時そのお神さんを聖母
の様だと褒め上げ、その代り何
もしてやらなかつた日には糞た
れ邊だときさし散らしてゐた。

此の日には、羊飼々山から下
りて人の家に行つて、手鼓やサ
ムボンバに連れて、その銳し腰
聲で相槌を打つてゐた。

若し何處かの家でお神さんが
都屋でも用意して呉れたら、和
槌を打つ時そのお神さんを聖母
の様だと褒め上げ、その代り何
もしてやらなかつた日には糞た
れ邊だときさし散らしてゐた。

第八章 小供の走り遊び
小供等の戯遊、あまり聞か
せられてゐたので、學校に土と
思ひで行つたものであつた。ホ
アン伯父はなかつたけれども、
マーテン、ペレス、ディリ
の様に、俺にかゝつて

どんなホアン、フローリンと
とも戦つてやらうと思つてゐた
初の内先生は俺を下級に入
れたので恥しくてたまらないが、然し一時たゞ直ぐに俺
が、然し一時たゞ直ぐに俺
と同じ年配の者の間に入れて呉
れた。

教師のドン、イタリオはカス
アリア生れのお爺さんで、會話
が正確に發音することを教へて
ゐた。バスク語を仇の様に憎ん
じる。そしてブルゴーがミフ
ンダ、デ、エプロに於ける様な話
し方をするのは絶対必要の事で
然し俺だけは未だ病身である
苟くも相當の考へを持つてゐる
人間は世の中に出て前によく怒
つては我々を擲つてゐた。

然し俺だけは未だ病身である
め、あまりなぐられない様に
母が軽んでゐるものだから何
邊も此の筈から逃れることが
出来た。

俺は自分の病氣であることが利
用出来る事を知つてからは、制
から免れるために何時も胸や胃
が痛んで堪らぬ様な眞似をして
やつた。先生の拳骨から幾度も
動かへたことはよいが、然しあ
の代り強い男としての評判を失
つて終つた。「此の子供は一向
役に立たん」と俺のことを皆が
云つてゐた。そして今日の今日
迄もさう信じてる奴が居る。

此の日には、羊飼々山から下
りて人の家に行つて、手鼓やサ
ムボンバに連れて、その銳し腰
聲で相槌を打つてゐた。

若し何處かの家でお神さんが
都屋でも用意して呉れたら、和
槌を打つ時そのお神さんを聖母
の様だと褒め上げ、その代り何
もしてやらなかつた日には糞た
れ邊だときさし散らしてゐた。

此の日には、羊飼々山から下
りて人の家に行つて、手鼓やサ
ムボンバに連れて、その銳し腰
聲で相槌を打つてゐた。

若し何處かの家でお神さんが
都屋でも用意して呉れたら、和
槌を打つ時そのお神さんを聖母
の様だと褒め上げ、その代り何
もしてやらなかつた日には糞た
れ邊だときさし散らしてゐた。

此の日には、羊飼々山から下
りて人の家に行つて、手鼓やサ
ムボンバに連れて、その銳し腰
聲で相槌を打つてゐた。

若し何處かの家でお神さんが
都屋でも用意して呉れたら、和
槌を打つ時そのお神さんを聖母
の様だと褒め上げ、その代り何
もしてやらなかつた日には糞た
れ邊だときさし散らしてゐた。

此の日には、羊飼々山から下
りて人の家に行つて、手鼓やサ
ムボンバに連れて、その銳し腰
聲で相槌を打つてゐた。

此の日には、羊飼々山から下
りて人の家に行つて、手鼓やサ
ムボンバに連れて、その銳し腰
聲で相槌を打つてゐた。

此の日には、羊飼々山から下
りて人の家に行つて、手鼓やサ
ムボンバに連れて、その銳し腰
聲で相槌を打つてゐた。

各種時計
修理専門

魚住時計修繕所

碧市 コンデサルゼー
ダス街三十一番

時計の病氣なら必ず完全
に直します。而も安價に
試に一度御試して下さい

徵集延期關する告示

第一、明治三十九八年十二月二日
より全三十九九年十二月二日迄
に生れたる及現在微集延期
中の者は正十五年度微集延期
期方及在留證明書の日附は大正
但し右願書の受付、便宣上本
年十月五日より開始する者
は大正十五年度の徵集延期願
を差出す。及ほす

第二、在留證明の日附は大正
但し右願書の受付、便宣上本
年十月五日より開始する者
は大正十五年度の徵集延期願
レースを要し、返信希望者は五
ミル

第三、在留證明手數料は五百
但し本籍地へ願書發送希望の
者は手數料の外書留送料八百
レースを要し、返信希望者は八
ミルレース。本人所在地へ向
送方希望者は手數料の外二百
レースを要し、返信希望者は二
百ミルレース。

第四、在留證明手數料は五百
但し本籍地へ願書發送希望の
郵便為替若くは銀行替為替にて
送付する。手數料は五百ミル
以下之の端数は郵便切手にて
封入すべし。

第五、本年十二月始めて證明類
を差出す者に限り日本出發伯
國上陸年月日を左の通り記入
する。

第六、願書宛名は左の通り記入
する。

第七、在留證明に關し當館
會する場合は發信人の氏名、現
住所の九つ字の機械的要る人は
精米精棉並フバ製造所

第八、在留證明書を本人より直
接本籍地へ送付の場合には必ず書
留便を以てし其御收證を

第九、微集延期願出の爲に要す
る在留證明願書は事務の都合
により、イグアッペ、ジユキア
及サンボウロ帝國領事館に
其に在サンボウロ帝國領事
事館に提出すべし。

第十、在留證明書と共に右届
出づべし。

農產物仲買
殺虫剤、農具、諸機械
果實苗木の取次販賣

山根商店

北西線 リンス町
郵函 一一二四

ドトール
モラエスリマ
何時でも診療に應じます
張所でお尋ね下さい

Dr. Moraes Lima

Medico e Operador
na Beneficiencia Portuguesa
Libeirão Giroto

ガルサ殖民地

精米精棉並フバ製造所

棉花並に雜穀賣買

木村孝太郎

ソロカバナ線
アルバレスマツジャード
郵函 一 番

大原兄弟

精米精棉並フバ製造所
雜貿易小賣 農產物仲買
大原兄弟

北西線 アラサツーバ勝
電話 三〇番
郵函 一一〇八番

鹽辛削節干魚
K
一二共商會

發賣元 サントス市ルアセナドンダンタス五十三番
電話 セントラール 三〇五四番
カイシヤ 三二八番

旅館潮
館主 前田吉太郎
サントス港 ランタバスター街四八番
電話 一九二四番
郵函一八

帝國總領事館

monsulado Geral do Japão

Caixa postal 1167

農產物仲買
珈琲精製所
安瀬商店

北西線 アラサツーバ勝
郵函 アグアリンバ



